

自分流 枕草子

中学二年二組三十一番R・M



春はてんとう虫。

うるはしき色はさらなり、美し
き班点はたれもたれもが思ひ惚
る。

飛ぶやうすをふかくに見るのも
いとをかし。

夏は蝉。

ミンミンとなつかしく鳴く声いとをかし。

網をもちて蝉をとるも、いとつきづきし。

みじかき命でせめての鳴く声
いづるのは、いと悲しかり。

秋はこおろぎ。

鳴く声はいふべきにもあらず。

夏の蝉の鳴く声とは異なるも、
いとをかし。

むつかし見目はいとわろし。

冬は雪虫。

ふわふわして見ゆるは、いとら
うたし。

雪のやうに飛ぶのも、いとをか
し。